

専門分野

成人看護学

授業科目	成人看護学 概論	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	成人看護学 援助論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当者
		1年次	1	30		岩脇 孝導			1年次	1	30		岩脇 孝導
学習目標	1. ライフサイクルにおける成人各期の身体的機能の特徴、成人期の社会および生活状況の特徴、役割を理解する。 2. 成人期である個人とその家族を対象とし、成人期の健康の特徴や疾病の動向、起こりやすい健康障害の特徴をふまえ、様々な理論や概念をもとに成人の健康を支援していくための援助を考える事ができる。						学習目標	呼吸機能障害・循環機能障害・内部環境調節機能障害が、生命や生活にどのような影響を与えているかを理解し、看護実践に必要なアセスメント・看護介入について理解し、健康回復から終末期の各経過に応じた援助方法の知識と技術が理解できる。					
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験
1	I. 成人期とは 1. 成人期の概念 2. ライフサイクルにおける成人の位置づけと発達課題 3. 成人期の身体的・心理的・社会的特徴 ①青年期②壮年期・中年期③向老期 4. 成人期の生活 1)働くことの意義 2)働き方の変化 3)ワークライフバランス 5. 家族と生活 1)家族の概念 2)家族の中の成人期の役割				講義 グループワーク	岩脇孝導 教員 実務経験:有 【試験配分】 70点	1	I. 呼吸機能障害時の看護 1. 肺がん患者の看護 1) 症状に伴う看護 2) 治療に伴う看護 ・放射線療法・化学療法 ・胸腔ドレーン管理 ・ドレーン類の挿入部の処置 3) 疾病の受け止めと心理的援助 ・がんの告知と受け止め ・家族への援助 4) 終末期の看護 ・全人的苦痛の理解・緩和ケア ・家族ケア				講義	加藤 貴子 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配分】 30点
2													
3													
4													
5													
6	II. 成人期の健康の動向 1. 保健統計からみた成人の健康の動向 1)人口構造 2)平均寿命と死亡の動向 3)業務上疾病と労働災害 4)健康の社会的決定要因 (SDH) 2. 成人期の健康問題と健康課題 ①青年期②壮年期・中年期③向老期 3. 成人期の生活と保健医療福祉システム 1)ヘルスプロモーション 2)第2次健康作り対策 (健康日本2 1) 3)生活習慣病対策 4)疾患対策 (がん対策) 5)自殺対策				講義	西田美由紀 保健師 開西病院 健診センター 係長 実務経験:有 【試験配分】 30点	5	2. 慢性閉塞性肺疾患患者の看護 1) 急性増悪期の看護 2) 慢性期 (安定期) の看護 3) 退院支援				講義	木戸結希乃 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配分】 20点
7													
8													
9													
10													
11	III. 成人への看護アプローチ 1. 成人期にある人が健康問題をもつこと 2. 患者・家族の意思決定を支える 1)成人学習モデル 2)患者の権利と権利擁護 (アドボカシー) 3)行動変容モデル 4)意思決定支援 5)家族支援 IV. 成人の健康レベル対応した看護 1. ヘルスプロモーションと看護 1)健康レベル別に観た成人期の看護の特徴と理論の活用 (1)急激な健康破綻 (急性期・周手術期) 時の看護 ①危機理論 ②障害受容過程 (2)回復期・リハビリテーション期の看護 ①エンパワーメント ②セルフケア理論 (3)慢性期の看護 ①病みの軌跡②変化のステージモデル ③症状マネジメントモデル ④療養の場の変化に伴う看護 (4)人生の最期の時を支える看護 ①死の受容プロセス②グリーフワーク				講義	岩脇孝導 教員 実務経験:有	7	II. 循環機能障害時の看護 1. 心筋梗塞の患者の看護 1) 急性期の看護 (1) 生命危機状態時の援助 (2) 治療に伴う看護 (3) 心理的援助 2) 回復時の看護 (1) 心臓リハビリテーション 2. 心不全患者の看護 1) 急性心不全時の看護 2) 慢性心不全時の看護				講義	小倉江梨花 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配分】 30点
12													
13													
14													
15													
15	試験						15	試験					
テキスト	成人看護学総論/医学書院 がん看護学/医学書院 国民衛生の動向						テキスト	成人看護学[2]呼吸器/医学書院 成人看護学[3]循環器/医学書院 成人看護学[8]腎・泌尿器/医学書院					
評価方法	筆記試験						評価方法	筆記試験					
先修条件	なし						先修条件	なし					

専門分野

成人看護学

授業科目	成人看護学 援助論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	成人看護学 援助論Ⅲ	開講年次	単位	時間	必修	担当者	
		1年次	1	30		岩脇 孝導			2年次	1	30		岩脇 孝導	
学習目標	栄養摂取機能障害・肝機能障害・代謝機能障害・生体防御機能障害が、生命や生活にどのような影響を与えているかを理解し、看護実践に必要なアセスメント・看護介入について理解し、健康回復から終末期の各経過に応じた援助方法の知識と技術が理解できる。						学習目標	認知機能障害・運動機能障害・感覚機能障害が、生命や生活にどのような影響を与えているかを理解し、看護実践に必要なアセスメント・看護介入について理解し、健康回復から終末期の各経過に応じた援助方法の知識と技術が理解できる。						
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	
1	I. 栄養摂取機能障害時の看護 1. 胃がん患者の看護 1) 胃切除を受ける患者の看護 (1) 手術前の看護 (2) 手術後の看護 (3) 術後合併症の予防と早期発見への看護 ・創傷処置 (4) 回復期と退院に向けての看護				講義	西條千春 看護師 帯広厚生病院 看護係長 実務経験:有 【試験配点】 20点	1	I. 認知機能障害時の看護 1. クモ膜下出血・脳出血患者の看護				講義	高木彩芳 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配点】 40点	
2							2	1) 急性期の治療と看護 (1) 頭蓋内圧亢進症状と生命維持						
3							3	(2) 手術を受ける患者の看護 (3) 廃用症候群と二次障害予防 (4) 心理社会的援助						
4							4	2) 回復期の治療と看護 機能障害の回復と機能訓練						
5					5	3) 再発予防に向けての援助								
4	II. 肝機能障害時の看護 1. 肝炎患者の看護 1) 急性肝炎時の看護 2) 慢性肝炎時の看護 3) 肝硬変時の看護 2. 肝がん患者の看護				講義	松永彩音 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配点】 20点	6	II. 運動機能障害時の看護 1. 大腿骨頸部骨折患者の看護				講義	小澤将秀 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配点】 20点	
5							7	1) 手術時の看護 (1) 患肢の安静と保持 (2) 合併症の予防 ・自動・他動運動の援助						
6							8	(3) 退院に向けての生活調整 2) 保存的治療を受ける患者の看護						
7	III. 代謝機能障害時の看護 1. 糖尿病患者の看護 1) 症状に対する看護 2) 心理社会的特徴と看護 (1) 疾病の受け止めと心理反応 (2) 学習への動機づけ 3) 教育的アプローチ (1) 食事指導 (2) 運動療法への支援 (3) 薬物療法への支援 4) 血糖測定の実際				講義	高山 梢 看護師 帯広厚生病院 看護係長 実務経験:有 【試験配点】 30点	9	2. 脊髄損傷の患者の看護 1) 急性期の看護 2) 亜急性期・慢性期の看護						
8							10	3. パーキンソン病の患者の看護						
9							11	1) 症状・経過の理解と看護 2) 薬物治療と看護						
10							12	3) 退院調整と家族介護への看護 4. ALS患者の看護						
11	IV. 生体防御機能障害時の看護 1. 白血病患者の看護 1) 寛解導入期の看護 (1) 化学療法を受ける患者の看護 (2) 疾患の受け止めと心理的援助 2) 寛解期の看護 3) 終末期の看護 (1) 輸血の管理 2. 感染症: HIV 1) 症状と治療に対する看護 2) 心理的援助				講義	吉田春希 看護師 帯広厚生病院 実務経験:有 【試験配点】 30点	13	III. 感覚機能障害時の看護 1. 緑内障の患者の看護 ・主な治療と看護・視力低下・失明に伴う看護				講義	藤本尚弘 看護師 帯広厚生病院 看護係長 実務経験:有 【試験配点】 10点	
12							14	2. 喉頭がん患者の看護 ・主な治療と看護 ・退院後の生活に向けて						
13													講義	谷内自然 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配点】 10点
14														
15	試験						15	試験						
テキスト	成人看護学[5]消化器/医学書院 臨床外科看護各論/医学書院 成人看護学[4]血液・造血器/医学書院 成人看護学[8]内分泌/医学書院 成人看護学 [11] アレルギー・膠原病・感染症/医学書院						テキスト	成人看護学[7]脳神経/医学書院 成人看護学[10]運動器/医学書院 成人看護学[13]眼/医学書院 成人看護学[14]耳鼻科/医学書院						
評価方法	筆記試験						評価方法	筆記試験						
先修条件	なし						先修条件	成人看護学概論の履修						

# 専門分野

# 成人看護学

授業科目	成人看護学 援助論Ⅳ	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	成人看護学 援助論演習	開講年次	単位	時間	必修	担当者
		2年次	1	15		岩脇 孝導			2年次	1	30		岩脇 孝導
学習目標	排泄機能障害・性機能障害・自己免疫調節機能障害が、生命や生活にどのような影響を与えているかを理解し、看護実践に必要なアセスメント・看護介入について理解し、健康回復から終末期の各経過に応じた援助方法の知識と技術が理解できる。						学習目標	紙上事例患者を通して、健康障害をもつ成人期にある対象の特徴をとらえ、疾病や治療が対象に与える影響を理解し、患者の経過やニーズに応じた看護援助について考えることができる。					
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験
1	I. 排泄機能障害時の看護 1. 大腸がん患者の看護援助 (1) 人工肛門の適応 (2) 告知と受けとめへの援助 (3) セルフケア行動獲得への援助 ・ ストーマ管理 (4) 退院に向けての援助				講義	大椋 友美 帯広厚生病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 実務経験:有 【試験配点】 40点	1	1. 事例患者に必要な看護を理解するための知識や学習内容が明確にできる				講義 演習	岩脇孝導 教員 実務経験:有
2	2. 膀胱がん患者の看護 (尿路変更術を受ける患者の看護)						2	2. 患者の入院目的や疾病・治療の経過から患者に必要な看護方針を考える。 1)看護基礎情報の整理と経過、患者の病気に対する受け止めの理解					
3							3	2)患者の生活背景、治療の経過から生じる患者の苦痛の理解					
4	II. 性機能障害時の看護 1. 子宮がん患者の看護				講義	倉井依鈴 帯広厚生病院 助産師 実務経験:有 【試験配分】 15点	4	3. 疾病や周手術期の一般的な経過を踏まえて、患者のニーズの充足状況が判断できる。					
5	2. 前立腺がん患者の看護						5	1)各適応様式における系統的な行動のデータの収集					
6	III. 自己免疫機能障害時の看護 1. 膠原病の特徴と看護				講義	北濱 敬康 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配分】 15点	6	2)データの解釈、適応状態の判断 (統合性、適応レベル)					
7	2. 関節リウマチ患者の看護						7	4. 患者のニーズの充足状況に影響を与えている要因について考え、看護の必要性を判断する。					
8	試験				講義	藤原 悠 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配分】 15点	8	1)影響因子の情報収集、病態関連因子・治療関連因子・状況因子の特定					
							9	2)影響因子が患者にどのような影響を与えているのか、看護の必要性の判断					
					講義	藤原 悠 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配分】 15点	10	5. 患者の看護目標と必要な援助内容を考えることができる。					
							11	1)看護の成果を意識した看護診断の特定					
							12	2)影響因子を踏まえた目標設定					
							13	3)影響因子に働きかける介入計画の立案					
							14	6. 介入計画に基づいた援助の実施と評価グループ毎にシミュレーション演習を行い、介入計画を評価する。					
							15	援助の実施：術後の患者の全身状態観察とケア、全身清拭					
								7. 総括：事例のとらえと必要な看護活動について					
テキスト	成人看護学[5]消化器系/医学書院 成人看護学[8]腎・泌尿器/医学書院 成人看護学[9]女性生殖器/医学書院 成人看護学[11]アレルギー・膠原病・感染症/医学書院						テキスト	基礎看護技術Ⅰ/医学書院 基礎看護学[4]臨床看護総論/医学書院 成人看護学[2]呼吸器/医学書院 成人看護学総論/医学書院 臨床外科看護総論・各論/医学書院 別巻 がん看護学/医学書院 ザ・ロイ適応モデル/医学書院 看護診断ハンドブック/医学書院					
評価方法	試験						評価方法	評価内容はグループワークの取り組み5割 事後レポート5割					
先修条件	成人看護学概論の履修						先修条件	基礎看護学10科目、成人看護学概論の履修					